

目次

1. はじめに	3
2. 記事の種類と位置付け	3
2.1 大きな記事	3
2.2 小さな記事	4
2.3 その他の記事	5
3. 転載などについての注意点	5
4. 原稿投稿から発行までの流れ	6
4.1 投稿から印刷所への入稿まで	6
4.1.1 担当編集者によるチェックと FB	6
4.1.2 校閲	7
4.2 入稿から発行まで	7
4.2.1 著者校正	7
4.2.2 校正業者による校正	7
5. 原稿の準備	7
本文・図注	7
5.1	7
5.2 写真・図	8
5.3 表の作成	8
5.4 タイトルスペース	8
5.5 日本語要旨	9
5.6 英文要旨	9
5.7 参考文献	9
5.7.1 引用番号の振り方	9
5.7.2 各引用文献の表記方法	10
5.7.3 雑誌名等の略記法	14
5.8 「[書評]」の書き方	15
5.9 「[Astro Express]」の書き方	15
5.10 「[人事公募]」の書き方（月報だよりの中に掲載）	15
6. 入稿前の原稿見直し	16
7. 入稿方法	17
7.1 入稿データの形式	17
7.2 投稿方法	18
7.2.1 アップローダによる投稿（推奨）	18
7.2.2 電子メールによる投稿	18
7.2.3 そのほかの方法による投稿	18

8. 別刷りの注文.....	19
9. 校正.....	19
9.1 印刷所への入稿後の手順.....	19
9.2 著者校正.....	19
10. 天文月報オンラインの公開.....	20
11. 著作権.....	20
12. 原稿料・別刷り代・掲載料.....	20
12.1 原稿料.....	20
12.2 別刷り代.....	20
12.3 掲載料・手数料.....	21

1. はじめに

天文月報は公益社団法人日本天文学会が発行する月刊誌であり、一般、天文学会会員、および他分野の研究者に対して、天文学、天体物理学分野の科学的な情報の公開、伝達、普及促進を目的としています。ご執筆にあたっては、これらの読者の方々にとってわかりやすい記事をご用意くださいますようお願いいたします（ご自分が高校生や大学1、2年生のときにその記事を読んで理解できたかどうかを考えてみてください）。

購読者としては天文学の専門的研究者のみではなく、一般分野の方が多数おられます。したがって、天文学の専門研究者向けの詳細かつ先端的な議論の記事は第三者審査付き学術雑誌にお任せし、天文月報では一般読者向けのわかりやすい解説記事の掲載を目指しています。是非、研究の内容を噛み砕き、他分野の研究者のみならず研究に直接携わっていない人々にも十分に納得されるようなわかりやすい記事となるよう心掛けてください。その意味で、あまりに多い数式の使用は控えるべきですし、図表についてもなるべくひと目で理解できるように心がけてください。また専門用語には解説をつけてください。特に、レビュー記事においては、天文学にかかわらず科学的に広い視点に立って当該の主題を総括してくださいますようお願いいたします。

また、天文月報には、研究発表の場としての位置づけもあるのですが、その発表内容は客観的に評価されていることが原則です。これは、研究内容の科学的な評価に関する審査組織を持たないためであり、そういった内容の原稿はまず、各学会が発行する第三者審査付き学術雑誌に投稿していただくようお願いしております。

2. 記事の種類と位置付け

天文月報では、記事の内容にしたがって以下のようなコーナーを用意しております。ご自分の投稿される内容がどの種類に該当するかご判断いただき、それぞれの原稿の書き方にしたがって記事を用意してください。すべての原稿において、タイトル、著者名、著者所属先、本文が必要です。コーナーによって必要な項目が異なり、決まった様式がある場合もあります。タイトルや要旨、図表を含む記事全体の文量の目安を事項に示します。あまりに異なる場合は編集委員にご相談ください。特に指定のない場合、本文の文字数は1ページあたり22文字×38行×2段で1672文字です。

2.1 大きな記事

[SKYLIGHT (スカイライト)]

科学的または一般的に注目されているテーマについて、一般読者を対象にわかりやすくレビューしていただくコーナーです。ご自身で行われた研究をその研究の背景も十分に含めて記述していただくことが望まれています。著者所属先住所、日本語要旨、英文要旨（英文著者名、英文著者所属先、英文所属先住所を含む）、参考文献の紹介も必要で、本文と併せて刷り上り8-10ページ程度の記事です。

[EUREKA (ユーレカ)]

ご自身、あるいはご自身のグループで行われた研究によって明らかとなった新しい科学的成果を、一般読者を対象にわかりやすく解説していただくコーナーです。Eurekaはアルキメデスがかのアルキメデスの原理を風呂のなかで発見した時に叫んだ言葉と言われており、「わかった!」という意味です。欧文または邦文の査読誌に掲載された原著論文、または、それに相当する論文（博士論文など）に基づいた記事であることが原則です。著者所属先住所、日本語要旨、英文要旨（英文著者名、英文著者所属先、英文所属先住所を含む）、参考文献の紹介も必要で、刷り上り8-10ページ程度の記事です。

[天球儀]

天文学に関連した様々な話題を一般読者向けにわかりやすく紹介するコーナーです。専門的な研究を紹介するものではなく、研究の背景を広く説明したもの、天文教育に関わること、広報普及活動に関わること、様々な協力事業や研究および研究者に関することの紹介文を掲載しています。著者所属先住所、日本語要旨も必要で、刷り上り 8-10 ページ 程度の記事です。英文要旨や参考文献は必須ではありません。

[特集]

1つのテーマに沿って、ある程度まとまった数の記事を掲載する場合に設けるコーナーで、数ヶ月に渡り連載することもあります。[SKYLIGHT]、[EUREKA]、[天球儀]と同じ書式で用意された原稿を編集部で判断して[特集]とします。3本以上のまとまった記事を用意し、特集企画として持ち込むことも歓迎します。書式は原則として著者所属先住所、日本語要旨、英文要旨(英文著者名、英文著者所属先、英文所属先住所を含む)、参考文献の紹介が必要ですが、特集の内容によって英文要旨、参考文献の紹介は省いても構いません。文量は原則 8-10 ページ程度で、特集ごとに適切な記事数やページ数を設定することもできます(例: 2-3 ページの記事を 5 本、10 ページを 2 本など)。

2.2 小さな記事

[巻頭言]

特集やシリーズが組まれる場合に、そのテーマや概要について紹介するコーナーです。

[ASTRO NEWS (アストロニュース)]

最新の天文ニュースを、一般読者向けにわかりやすく紹介するコーナーです。通り一遍の記事でなく、発見方法やその天文学的意義を語るなど、より深い紹介を期待しています。

[シリーズ]

天文月報編集委員会がテーマを決め、一定期間続く連載コーナーです。会員からの提案・寄稿による連載も可能です(例: 2015年~の「天文学者たちの昭和」)。

[書評]

指定された書籍、雑誌等について講評するコーナーです。刷り上り 1 ページ(約 1250 字)または半ページ(約 620 字)の記事で、定まった様式があります。

[Spectra (スペクトラ)]

天文学とその周辺に関する意見や主張を掲載するコーナーです。1 ページ程度のまとまった長さを持つものを対象としています。

[追悼文]

天文学関係者の追悼記事を掲載します。原則として会員からの寄稿によります。執筆者の人数に関わらずできる限り数ページにまとめてください。ページ数の上限は全体で 15 ページです。掲載時期やページ数の検討のため、投稿前に編集委員会にご相談ください。

[Astro Express (アストロエクスプレス)]

学術雑誌に掲載された論文の速報コーナーです。刷り上り半ページ程度で、定まった様式があります。

[雑報]

天文学に関連した様々な話題を紹介するコーナーです。研究会報告、早川幸男基金による渡航報告も含まれます。刷り上り数ページ程度の記事です。ただし、研究会報告は 2 ページに収まるようまとめてください。また、読者にとって有益な内容を含むことを心がけ、単なる報告にならないようにしてください。

2.3 その他の記事

[年会]

天文学会開催のお知らせ、および、プログラムを掲載するコーナーです。

[寄贈図書リスト]

天文学会に寄贈していただいた書籍を報告するコーナーです。

[月報だより]

人事公募、人事公募結果、研究公募、研究助成、研究会や集会の案内、会務案内、訃報などの速報性の高いコーナーです。また、天文学会事務室からの報告および要望、編集委員からの連絡、その他の戯言も書かれています。

[星空市場]

天文学会会員同士の情報交換を行うコーナーです。アマチュアからプロレベルまで幅広い人に向けた内容で、質問やそれに対する回答、天文学上の議論、天文学会への要望といった意見交換などもとりあげます。記事の長さは半ページ程度が目安です。

[広告]

コーナーではありませんが、天文学関連の会社の広告を掲載しています。

[その他]

場合によって、特設コーナーを設けることもあります。

3. 転載などについての注意点

執筆においては、図などの無断転載、不適切な画像操作、二重投稿といった行為を故意にはもちろん、無意識に行わないよう十分にご注意ください。学术论文を正しく記録し公益に資するために、ルールの遵守をお願いいたします。

天文月報ではオリジナルの記事を掲載しています。他誌に掲載済・投稿中のものと同一の記事は、原則として受け付けることが出来ません。充分にご注意ください。なお、「同一の記事」とは文章、図、表など、完全に（もしくは殆ど）同じ記事という意味です。元論文をそのまま和訳しただけの場合も含まれます。EUREKA（著者自身の研究紹介）の場合でも、記事の元となった発表済論文と全く同一内容にならないようにしてください。

*なお、転載にあたっての主な論文誌の著作権についてのルールは、以下の URL を参照してください。

〈主要論文誌の Copyright についての決まり〉

- ◆ ApJ, ApJL, AJ : "Permission to use AAS material in other publications"
<https://journals.aas.org/article-charges-and-copyright/>
- ◆ A&A : "Copyright and permission"
<https://www.aanda.org/about-aa/copyright>
- ◆ Science : "Using AAS material in a thesis or dissertation"
<https://www.sciencemag.org/help/reprints-and-permissions>
- ◆ Solar Physics, Springer :
"How to get permission to use Springer content online"
<https://www.springer.com/gp/rights-permissions/obtaining-permissions/882>
"Obtaining permissions - Springer"
<https://www.springer.com/gp/authors-editors/book-authors-editors/resources-guidelines/book-manuscript-guidelines/obtaining-permissions/5638>

- ◆ Nature* :
 "Reprints & Permissions"
<https://www.nature.com/nature-research/reprints-and-permissions>
 "Reprints & Permissions-Frequently asked questions"
<https://www.nature.com/nature-research/reprints-and-permissions/faqs> - [permission-requests](#)
- ◆ Physical Review, PRL*: "APS Copyright Policies and Frequently Asked Questions"
<https://journals.aps.org/copyrightFAQ.html>
- ◆ MNRAS : "Rights and New Business Development "
https://academic.oup.com/mnras/pages/rights_and_new_business_development
- ◆ PASJ : "PASJ Permissions Policy"
https://academic.oup.com/pasj/pages/pasj_permissions_policy

*がついているジャーナルからの転載は有料の場合があります

4. 原稿投稿から発行までの流れ

投稿から発行までは、執筆者と担当者、校閲担当者、事務、印刷所がそれぞれ並行して工程を進めます。1本の記事がはじめて投稿されてから掲載誌が発行されるまでの大まかな流れは、以下の図を参考にしてください。

- ・ 図解「[入稿から発行までの流れ](#)」

全体の工程は、原稿を仕上げるまでと、完成した原稿を印刷所に入稿してから掲載誌が発行されるまでの2つに分けられます。

4.1 投稿から印刷所への入稿まで

投稿された原稿は、まず直近の編集会議（毎月上旬開催）で以下の観点から掲載の可否を判断します。

- ・ サイエンスとして間違った解釈はないか。
- ・ 原稿は投稿されたコーナーのテーマや分量に対して適切か。
- ・ 内容が一般の読者にとって理解しやすいよう噛み砕かれているか。
- ・ 研究内容が客観的に評価されているものであるか。

趣旨から著しく逸脱していると判断した場合には掲載不可となります。また不十分な点が認められた場合には修正・再投稿を求めます。

掲載可能と決まった記事は担当の編集委員を決め、改めて原稿を確認します。その後、分野外の編集委員による校閲を経てから入稿となります。それぞれに2~3週間ほどかかるため、初回投稿から入稿完了までは1ヶ月~1ヶ月半程度の時間を要します。まとめると以下ようになります。

1. 初回投稿 →担当編集者によるチェックとFB（フィードバック）→修正・再投稿 →担当者の判断で2へ
2. 校閲者によるチェックとFB →適宜修正・再投稿 →校閲者の判断で校閲終了、原稿完成！

それぞれの工程について、事項で詳しく説明します。

4.1.1 担当編集者によるチェックとFB

投稿された原稿は、原稿内容と同分野を専門とする編集委員が担当となり、分量・内容および誤字脱字等の確認を行います。必要に応じて修正のうえ、再投稿をお願いしております。

4.1.2 校閲

担当編集者の確認が終わった原稿は、分野外の編集委員により校閲を行います。ここでは、分野外の研究者や一般、学生の読者の目線で読みやすいかどうかを含め、原稿の内容確認や書式のチェックを行います。必要であれば修正のうえ再投稿をお願いしておりますが、**軽微な修正であれば、校閲者の判断で修正を行うことがあります。**

4.2 入稿から発行まで

掲載号が決まると、画像を含む全ての原稿データを印刷所に入稿します。印刷所で天文月報のスタイルに沿って組版し、入校後約2週間で初校が出ます。組版された初校はPDFファイルで出され、著者の方に校正をお願いしています。入稿後、著者による校正は初校の1回限りです。校正について、詳しくは[「9.校正」](#)の項を参照してください。

5. 原稿の準備

原稿は原則として文字原稿のテキストデータと図の画像ファイルを準備してください。ホームページにWordとtexのテンプレートを用意してありますので、ご活用ください。

[投稿用 TeX/MS Word テンプレート](#)

タイトル、著者名、著者所属先、本文はすべての原稿で必要です。そのほか、コーナーごとに以下の項目が必要になります。

- ・ SKYLIGHT / EUREKA：著者所属先住所、日本語要旨、英文要旨、参考文献の紹介が必要
- ・ 特集 / 天球儀：記事の内容により必要に応じて日本語要旨、英文要旨、参考文献を付ける
- ・ 書評 / Astro Express / 人事公募：定まった形式に基づき原稿を用意する
- ・ 月報の1ページの文量は、22文字×38行×2段で1672文字、図を入れる場合は1300文字(一行22文字で60行)と図一枚(約7cm x 7cm)程度
- ・ 「大きな記事」やそれに準ずる記事については、原則として顔写真を掲載
- ・ 用語や数字・単位などの表記は「表記統一ガイドライン」を参照のこと

5.1 本文・図注

「はじめに」の章でも記しましたように、研究の内容を噛み砕き、他分野の研究者や学生の読者が十分に理解できるよう心掛けてください。とくに、以下の点にご留意ください。

- ・ 一般的でない学術用語や略語をそのまま用いず、平易な表現に置き換える
- ・ 原則として英語のままの表記は避け、和訳のあるものは日本語表現を用いる
例：red giant star → 赤色巨星 (「レッドジャイアント」という表記では×)
- ・ 数式を使用する事により理解が容易となる場合を除き、文章にて表現する
- ・ 標準的な国語辞典に載っていないあまり一般的でない外来語や外国語の固有名詞は、原語とカタカナ(和訳がある場合は和訳)を、カッコを使って併記する
例：Bulge (以後バルジと表記する) または バルジ (bulge)
※ 原語とカタカナ(または和訳)のどちらを括弧書きにするかは記事内で統一する
- ・ 文体は「である」「ですます」のどちらでもよいが、注やキャプションも含め、一つの原稿のなかでは原則として統一する
- ・ 読点は「、」句点は「。」とする

- ・ 脚注を入れる場合、本文内・図のキャプション内にかかわらず、「読み進める順」に通し番号を振る。なお、天文月報の通し番号の振り方は「*1」「*2」…と、アスタリスク+通し番号で表す

以上を確認のうえ、原則として TeX や word などのテキストファイルとしてご用意ください。上付き、下付き文字や数式での特殊記号などを正確に表記できない場合は、立体のまま記入し、編集部に入稿されるときにその旨ご指示ください。詳しくは「入稿方法」の説明を御覧ください。

5.2 写真・図

天文月報では、紙版では写真・図はモノクロまたは黒と青の二色刷りになります。図の作成にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・ 画像データは、できるだけ解像度の高いもの（配置する大きさと 300dpi 以上）をご用意下さい。
- ・ カラーの図はモノクロで印刷されるため、色分けされた図は違いがわかりにくくなります。また、カラーの文字は薄くなったり背景と同化したりして読みにくくなる場合があります。図をモノクロで表示・印刷してみて単色での出方を確認してください。
- ・ 図中の文字は、十分に文字が解読できる大きさと挿入してください。印刷されたときに 8 ポイント以上のサイズで表示されるのが理想です。また、できるだけ読みやすい一般的なフォントを使ってください。
- ・ 図中の言葉はできる限り平易な日本語にしてください。図中の文字を直すのが難しい場合はキャプションに解説を入れてください。
- ・ ワードで作成した原稿に図を挿入した場合でも、高解像度が望まれる画像は別途画像データをお送りください。
- ・ 青と黒の二色で構成する場合、色ごとにレイヤーを分け、ベクターで保存してください。
- ・ 画像の最終データの PDF ファイルを添付してください。（eps・png では文字化けしたりレイアウトが崩れたりすることがあります）
- ・ 写真、図を他誌から引用する場合、著作権により許可が必要な場合があります。自著論文からの転載でも許可が必要な場合がありますので、必ず引用元にお問い合わせください。引用や転載に伴う許可手続きは原則として著者の責任で行ってください。手続きは出版社によって異なりますので、引用元の雑誌・出版社にお問い合わせください。
- ・ オンライン版だけをカラー画像に差し替えることもできます。ただし、キャプションや本文は変更できないため、カラーにしてもキャプションや本文内の図の説明に矛盾の生じないものに限りです。
- ・ カラー印刷を希望される場合は、別途費用をご負担いただきます。詳しくは編集委員にお問い合わせください。

5.3 表の作成

表の中に使われる言葉は略語や専門的な表現を避け、できるだけ平易なものにしてください。なお、作成した表はそのまま印刷するのではなく、印刷所で組み直します。そのため、表中文字のテキストデータが必要です。

5.4 タイトルスペース

タイトルスペースにはタイトル、著者名、所属先、所属先住所、e-mail アドレス、顔写真が入ります。コーナーによって必要な項目が異なりますので、各コーナーの書き方を参照してください。

- ・ 顔写真はできるだけ掲載をお願いしておりますが、希望しない場合はその旨をお知らせください
- ・ e-mail アドレスは、記事内容について読者が問い合わせできるように原則記載をお願いします。オンライ

ンで公開されても問題のないものにしてください

- ・ 所属先住所を記載しても良い場合はできるだけ記載してください。所属先がなくご自宅の住所を記載する場合は、町名まで記載してください
- ・ 執筆者が多数の場合は、著者名を改行せずに列挙して右肩に通し番号を振り、著者名の下に所属先と email アドレスを記載し、対応する番号を振ってください。（例：[2016年9月号「ひので」衛星の広報普及・教育活動](#)）。

または、所属先に通し番号を振り、対応する著者名に同じ番号を振ってください。（例：[2017年2月号すばる望遠鏡を用いた130億光年彼方での一般相対性理論の検証](#)）

この形での記述が難しい場合は、著者ごとに所属を記載してご投稿いただければ、編集委員で組み直します

- ・ タイトルスペースに記載した情報は、そのままオンラインで公開されます。

5.5 日本語要旨

文章内容を 300 文字程度に要約してください。

5.6 英文要旨

英文で「タイトル」、「名前」、「所属と住所」、「アブストラクト」を用意してください。

- ・ タイトルはできる限り要領よく簡潔に英語に直してください。
- ・ 名詞、形容詞、副詞の最初の文字は大文字にしてください。
- ・ 内容は、記事を簡潔に英文にまとめたものとしませんが、日本語要旨を英訳したもので構いません。
- ・ 分量は原則として 80 語以内、長くても 100 語以内の長さに押さえてください。
- ・ 英語を母国語とする方による校正は行いませんので、著者の責任において英文として問題のない原稿を用意してください。

5.7 参考文献

論文中に引用した文献は、本文中で引用された順に通し番号をつけ、最後に一覧にして載せます。この一覧は読者の便宜を図るためのものなので、「誰でも容易にたどりつける文献」についての最低限の情報を簡潔に掲載することが大切です。

引用する文献は、原則として以下の表記方法に従って記載してください。下記に当てはまらない場合は PASJ のルールに準じます。[\(PASJ : 投稿の手引\)](#)

5.7.1 引用番号の振り方

以下の手順で本文の引用箇所番号を振ってください。

- ・ 文献の掲載順は「引用順」とする。アルファベット順ではない。
- ・ 本文を読み進める際に出てくる順序で並べる。
- ・ 脚注がある場合は「本文を読み進め」→「脚注の引用箇所脚注に移り」→「脚注を読み終わったらその続きから本文に戻る」。
- ・ 同様に、図のキャプションの場合も、本文内の図の引用箇所があったところで図のキャプションに移り、キャプションを読み終わったら本文の続きに戻ります。その順で、出現順に通し番号を振ります。
- ・ 一つの番号に複数の文献を含めないでください。原則として一番号一文献です。
- ・ 通し番号は、以下の書式で記載してください。※2020年4月号より適用

本文は、引用箇所に [1] [2] [3] …… と文献番号を挿入

2つを列記する場合は[1, 2]

3つ以上を列記する場合は[1-3]

- ・ 本文内の(e. g., [53, 54])といった表記はわかりにくいため、(例えば, [53, 54])や ([53, 54]など)と表記する

5.7.2 各引用文献の表記方法

〈欧文雑誌に掲載された論文〉

[文献番号] 筆頭著者の姓, 筆頭著者の名の頭文字., & 第二著者の姓, 第二著者の名の頭文字., 発表年, 雑誌名, 巻号, 先頭ページ番号または ID

[注]

- ・ 著者が二人の場合は著者名の上に&を入れてください.
- ・ 著者が三人以上の場合は et al. を用いて省略し, et al. の後にもコンマ(,)を入れてください
- ・ イタリック体や太字は使用しません.

※印刷中や投稿中の文献の場合は, 下記の「未発表文献について」を参照してください.

[例]

[1] Adams, F.C., et al., 1987, ApJ, 312, 788

[2] Takiwaki, T., & Kotake, K., 2011, ApJ, 743, 30

〈欧文著書および単行本〉

[文献番号] 著者の姓, 著者名の頭文字., 刊行年, 省略無し書名(出版社名, 所在地), 引用の章またはページ番号

[注]

著者または編者が二人の場合は著者・編者名の上に&を入れてください.

著者または編者が三人以上の場合は et al. を用いて省略し, et al. と著者名の間にもコンマ(,)を入れてください.

書名は記号で囲まないでください.

出版社名は省略しないでください.

特に指定する必要が無い場合には, 章またはページ番号は省略してください.

[例]

[1] Press, W. H., et al., 1992, Numerical recipes in C. The art of scientific computing, 2nd ed. (Cambridge University Press, Cambridge), 46

※上記の例はページ番号を入れる場合です. 章を引用する場合は, 「……(Cambridge University Press, Cambridge), chapter 2」 というように表記してください. (第2章を引用の場合の例)

〈編者のある欧文本あるいは欧文集録〉

[文献番号] 筆頭著者の姓, 筆頭著者名の頭文字., & 第二著者の姓 第二著者の名の頭文字., 発表年, in 書籍(集録)名, eds. 筆頭編者の姓, 筆頭編者の名の頭文字., & 第二編者の姓, 第二編者の名の頭文字., (出版社名, 所在地) 引用の章またはページ番号

[注]

- ・ 著者または編者が二人の場合は著者・編者名の上に&を入れてください.

・ 著者または編者が三人以上の場合は et al. を用いて省略し, et al. と著者名の間にもコンマ(,)を入れてください.

・編者のみの場合は、著者の代わりに最初に編者の姓、名の頭文字. を表記し、最終編者の名の頭文字. の後に eds. (または ed.) を入れ、発表年、in 書籍 (収録) 名…と続けてください。

- ・書名は記号で囲まないでください。
- ・出版社名は省略しないでください。
- ・特に指定する必要が無い場合には、章またはページ数は省略してください。
- ・印刷中や投稿中の文献の場合は、下記「未発表文献について」を参照してください。

[例]

※著者と編者両方を表記する場合

[1] Bianchi, L., et al., 1989, in IAU Symp.131, Planetary Nebulae, ed. Torres-Peinbert, S., (Kluwer, Dordrecht)

※編者のみ表記する場合

[2] Cox, A. N., ed. 2000, Allen's Astrophysical Quantities, 4th ed., (Springer, New York)

<和文雑誌>

[文献番号] 著者の姓名、発行年、雑誌名、巻数、ページ番号

[注]

著者が二人の場合は間にコンマ(,)を入れてください。

著者が多人数の場合は”ほか”を用いて省略しても構いません。

雑誌名の省略はしないでください。

同じ巻でも号ごとにページ番号が改められる場合は、巻のあとに () で号数を入れてください。

引用する記事の題名は原則として記載しません。特に記載する場合は発行年、の後に「記事題名」、としてください。

[文献番号] 著者の姓名、発行年、「記事題名」、雑誌名、巻、ページ番号

[例]

[1] 小宮山裕, 2018, 天文月報, 111, 93

[2] 小沼通二, 2002, パリティ, 17(2), 32

<和文著書・単行本>

[文献番号] 著者の姓名、発行年、省略無し書名 (出版社名)、引用の章またはページ番号

[注]

- ・著者が多人数の場合は”ほか”を用いて省略しても構いません。
- ・書名は記号で囲まないでください。
- ・出版社名は省略しないでください。
- ・特に指定する必要が無い場合には章またはページ数は略してください

[例]

[1] 田中雅臣, 2015, 星が「死ぬ」とはどういうことか (ベレ出版)

[2] 真貝寿明, 2015, ブラックホール・膨張宇宙・重力波 (光文社新書), 263

※編者のある和文本の場合

[文献番号] 著者の姓名、発行年、省略無し書名、編者の姓名 編 (出版社名)、引用の章またはページ番号

- ・著者または編者が多人数の場合は”ほか”を用いて省略しても構いません。
- ・編者のみの場合は、著者の代わりに最初に編者の姓名、を表記し、最終編集者の姓名の後に「編、発行年、省略なし書名、……」と続けてください。
- ・書名は記号で囲まないでください。
- ・出版社名は省略しないでください。
- ・特に指定する必要が無い場合には章またはページ数は略してください

[例]

- 1) 三津間康幸, 2013, ローマ帝国と地中海文明を歩く, 本村凌二 編 (講談社), 第 19 章
- 2) 観山正見 ほか 編, 2008, シリーズ現代の天文学 12 天体物理学の基礎 (日本評論社)

<翻訳書>

[文献番号] 著者の姓 名の頭文字. (翻訳者の姓名 訳), 発行年, 省略無し書名 (出版社名), 引用の章またはページ番号

[例]

- [1] ウィーラー J.C. (野本陽代 訳), 1988, ブラックホールを破壊せよ (光文社), 第 3 章

<URL>

[文献番号] URL (閲覧日)

[注]

- ・原則としてタイトルは不要です。
- ・URL の後に () で閲覧日を記入してください。

[例]

- [1] <http://cdsarc.u-strasbg.fr/viz-bin/Cat?II/246> (2018. 1. 22)

<研究会発表>

英語表記の場合

[文献番号] 著者の姓, 名の頭文字., 発表年, “発表タイトル”, 研究会名 (開催地都市名, 国名), [Session No.](#)

日本語表記の場合

[文献番号] 著者の姓名, 発表年, 「発表タイトル」, 研究会名 (開催地都市名, 国名)、セッション番号等
※発表タイトル、セッション番号等は省略可

<未発表文献について>

天文月報の記事内で引用する文献は原則として既に発表されたものに限ります。論文の論理構成上やむを得ず未発表の論文を引用する場合、著者名、発行年に続けて以下のようにしてください。アーカイブや doi がある場合は () で加えてください。

ある雑誌に投稿したが、いまだ受理されていない場合

- + 欧文雑誌の場合は、雑誌名, submitted (arXiv:○○○○)
- + 和文雑誌の場合は、雑誌名, 投稿中

[例]

- [1] Chen, Y.-T., et al., 2017, PASJ, submitted (arXiv:1705.01722)

ある雑誌に受理されて印刷中の場合

- + 欧文雑誌の場合は、雑誌名, in press (arXiv:○○○○)または(doi:○○○○)

+ 和文雑誌の場合は，雑誌名 印刷中

[例]

[1] Lin, H.-W., et al., 2017, PASJ, in press(doi:10.1093/pasj/psx082)

なお，preprint/unpublished/to be published/in preparation などは使用しないでください。

また，投稿後に印刷中になったり出版されたりしたものは著者校正時に修正してください。

[注] Astro Express の場合，表題の文献は上記とは異なり，以下のように記してください。

- ・ 著者の名の頭文字. 姓
- ・ 雑誌名 巻数, ページ数(年号)
- ・ 雑誌名の省略法は他と同じです.
- ・ 著者が複数の場合，著者名をコンマで区切り and や&は入れません.
- ・ 多人数の場合は筆頭著者以外を et al., を用いて省略しても構いません.

5.7.3 雑誌名等の略記法

原則として、PASJ のルールに準じてください。雑誌については原則として IAU 規約による省略法を用います。ただし、以下に示す雑誌に限っては独自の省略法を用いています。IAU 規約の省略法が不明の場合には編集部が対処しますので、省略せずに記入してください。

→IAU 規約を参照：

https://www.iau.org/publications/proceedings_rules/abbreviations/

IAU 規約による略記	天文月報での略記
Astrofizika	Afz
Astron. Astrophys.	A&A
Astron. Astrophys. Suppl.	A&AS
Astron. AStrophys. Rev.	A&AR
Astron. J.	AJ
Astrophys. J.	ApJ
Astrophys. J. Letters	ApJ (ページ数に L を付けて区別する)
Astrophys. J. Suppl.	ApJS
Annual Rev. Astron. Astrophys.	ARA&A
Astrophys. Space Sci.	Ap&SS
Astron. Zh.	AZh
Bull. American Astron. Soc.	BAAS
J. Astron. Astrophys.	JA&A
Monthly Notices Roy. Astron. Soc.	MNRAS
Memoirs Roy. Astron. Soc.	MmRAS
Nature	Nature (省略なし)
Nature Astronomy	Nature Astron.
Publ. Astron. Soc. Japan	PASJ
Publ. Astron. Soc. Pacific	PASP
Science	Science (省略なし)
Sky Telesc.	S&T
Soviet Astron.	SvA

集録名は原則として省略しませんが、以下に限り略記を用いてください。

集録名 略記法

Proceedings of IAU Symp. No.***

IAU Symp ***

Proceedings of IAU Colloq. No.***

IAU Colloq ***

その他の場合には以下のように略してください。

Proceedings → Proc

Symposium → Symp

Colloquium → Colloq

5.8 「[書評]」の書き方

原則として書籍のタイトルを書評の題としてください。題に添えて、対象書籍の著者、出版社、総ページ数、定価をお付けください。文末に評者の氏名、所属を記載します。

原則として、1 ページ（約 1250 字）または半ページ（約 620 字）で掲載します。書籍の種類を、「教科書」「解説書」「専門書」「研究資料」「読み物」「ソフトウェア」の一つに分類してください。また、1 ページの書評記事の場合、評者の「独断」で、対象書籍に対して 6 段階絶対評価で「お奨め度」を付けてください。星の数で表し、最高は白星 5 つ星、最低は星なしです。

5.9 「[Astro Express]」の書き方

タイトルは日本語にしてください。論文の英文タイトルを訳したものでなくても構いません。タイトルの次に論文の著者名を英語でお書きください。著者が 3 名を越える場合は、D. Tarou et al., と省略しても構いません。著者名の次に、学術雑誌名、巻、ページ、発行年のスタイルでお書きください。雑誌名の省略法については、参考文献の書き方を御覧ください。本文をお書きいただいた後、最後に原稿著者名と所属をお書きください。

5.10 「[人事公募]」の書き方（月報だよりの中に掲載）

原則として以下の項目にしたがってください。選考結果は必ずお知らせください。

募集人員（ポスト、人数など）

1. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地
2. 専門分野
3. 職務内容・担当科目
4. (1) 着任時期, (2) 任期
5. 応募資格
6. 提出書類
7. 応募締切・受け付け期間
8. (1) 提出先, (2) 問い合わせ先
9. 応募上の注意
10. その他（待遇など）

6. 投稿前の原稿見直し

投稿された原稿は、主に記事内容と同じ分野に詳しい担当者による内容確認と、分野外の編集者による校閲を行います。この際に記事内容や書式に不足や不適切な部分があると改訂と再投稿をお願いすることになります。この改訂にかかる著者・編集者双方の負担を可能な限り軽くし、迅速な出版を可能にするため、以下のリストを参考に、投稿前に再度原稿の見直しをお願いいたします。

〈体裁・書式の確認〉

- ・ タイトル、著者名、所属先、住所が抜けていませんか？（英文要旨がある場合は英文要旨にもすべての著者名、所属先、住所が必要です）
- ・ 日本語要旨、英文要旨、参考文献の引用など、コーナーに必要な要素は抜けていませんか？
- ・ 参考文献の引用番号は「読む順」に振られていますか？
- ・ 参考文献の書き方は正しいですか？
- ・ 原稿量は適切ですか？（冗長でないか、内容に対し適切なページ数か）

〈文法・日本語の確認〉

- ・ 段落の長さは適切ですか？
- ・ 誤字脱字はないですか？
- ・ 句読点の打ち方は適切ですか？多用しすぎたり、不適切な箇所でも文を区切ったりしていませんか？

〈内容の確認〉

- ・ 内容は一般読者がわかりやすいよう噛み砕いていますか？
- ・ 学術用語や数式を多用せず、平易な表現になっていますか？専門用語には説明が付されていますか？
- ・ 人名に間違いはありませんか？ 初出のみフルネームが表記されていますか？ 外人名のスペルミスや日本人名の漢字の間違いに注意してください

〈図の確認〉

- ・ すべての図について、本文内の適切な位置に引用が示されていますか？
- ・ 図のデータはPDF になっていますか？
- ・ カラーの図はモノクロ印刷した場合に図中のシンボルや線の区別がつかめますか？ キャプションの説明は色が区別できない前提で書かれていますか？
- ・ 図中の専門用語や略語、記号はわかりやすい言葉に直してありますか？ またはキャプションか本文で丁寧に説明されていますか？
- ・ 図中の文字は B5 判で印刷した場合に十分に解読できる大きさですか？ 文字が小さすぎる場合は文字を大きくするか、図そのものを拡大してください

また、以下の点につきましてもご留意ください。

〈校正担当者のつづやき -見逃されがちな校正ポイント〉

文章構成

- ・ 読者の目で読んで、読みやすく、論理に矛盾がないかなど。

文法

- ・「てにをは」が適切か。
- ・読点の打ち方は適切か。意味が通じにくくなるような打ち方はしていないか。

用語

- ・初出の用語や略語について説明がされているか。
- ・学術用語は「[天文学辞典](#)」を参考にしてください。
- ・用語が首尾一貫しているか。(悪い例:「放射」と「輻射」が混在)
- ・不必要に英語が使われていないか。(悪い例:spectrum に edge が現われる)
- ・初出の人名は原則としてフルネーム。ただし、著者名や有名人(例:ニュートン, アインシュタイン)など、読者がフルネームを容易に同定できる場合は省略してもよい。
- ・外国人名を原語表記するかカタカナで書くかは著者の裁量。ただし首尾一貫していることは必要。

表記方法

- ・図や表のキャプション, 縦軸と横軸, ラベル, 図の中の説明文字などが日本語になっているか。
- ・数量を表す場合, 数値と単位との間はシングルスペースを入れる。(例: 2 keV)
- ・天体のカタログ名と番号(または座標値)の間もシングルスペースを挿入。(例: NGC 4321, J 1921-293)
- ・範囲を表すには「-」(ハイフン)を用い, 近似を表すには「~」(シミラー)を使用する。(範囲の例: 2-10 keV 近似の例: $\tau \sim 1$)
- ・ローマン, イタリック, ボールドなどの字体に注意する。物理量を表すアルファベットは斜体とする。衛星名などは斜体としない。

参考文献

- ・大抵間違いが見つかるので NASA ADS でチェックする。
- ・学術誌の表記方法は A&A 方式

URL

アクセス可能かどうか, 一応ブラウザでチェックし最後に確認した日付を記入する。

英文アブストラクト

この部分は NASA ADS で web 公開されるので, タイトルや著者のチェック, 文法やスペルチェックを入念にする。単数の可算名詞に冠詞 (a または the) がないことが結構多いので要注意。

その他

ページにピッタリ収まるように原稿を作成しても, 組版の際にフォントや字間, 図のサイズが変わるためレイアウトがずれ, 初校でオーバーしたり不足したりすることがある。字数は原稿の時点では完璧に調整せず, 著者校正で行うと良い。

以上です。

7. 投稿方法

7.1 投稿データの形式

電子ファイルとしての原稿は, 以下の形式で投稿をお願いいたします。

- ・文字原稿: tex または Word などのテキストファイル (テンプレートに沿ったファイル)
- ・写真, 図, 複雑な表: PDF での投稿が望ましいですが, EPS, JPEG, PNG などイラストレータや photoshop で解析できる形式であれば問題ありません。ワードに高解像度・高完成度の図を挿入してある場合は個別に入稿する必要はありません。解像度が低く印刷に向かない場合は, 著者校正の際に差し替えをお願いすることがあります。

7.2 投稿方法

文字原稿、画像原稿とも原則として以下のいずれかの方法でご投稿ください。

7.2.1 アップローダによる投稿（推奨）

- ・アドレスとログイン方法

<http://www.asj.or.jp/geppou/toukou/index.php>

(ID とパスワードは本誌「月報だより」に不定期に掲載される「天文月報記事投稿用アップローダー」の記載を参照してください。)

- ・アップロードの方法

まず、記事の内容や著者の連絡先に関する表の記入欄を埋めてください。この欄が埋まっていないと、ファイルをアップロードすることができません。できるだけ一つにまとめてご投稿をお願いいたします。投稿するファイルが複数ある場合には「複数のファイルを投稿する」ボタンを押してください。押す度に投稿ファイル欄が増えます。一回あたり合計最大 50M バイト、個数は 20 個まで送信できます。それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむを得ない場合は分割してお送りください。

※ご注意※

投稿者の個人の認証は cookie を利用しています。したがって cookie を受け取らないブラウザでは使えません。またフォームの確認や可変個数のアップロードボックスは javascript を利用していますので javascript が使えなければこのアップローダーは使えません。

そのような場合は、従来通り `toukou (at-sign) geppou.asj.or.jp` までメールでご投稿ください。

ご連絡先

本アップローダーに関するご質問は `geppou (at-sign) asj.or.jp` までお願いします。

7.2.2 電子メールによる投稿

- ・電子メールで、

文章部分のテキストファイル

PDF または TIFF・EPS 形式による図表

原稿の体裁が整ったレイアウト見本となる PDF ファイル

以上のデータをお送りください。

- ・電子メールの Subject の項に著者、原稿のタイトル、図表の番号等を明記してください。
- ・容量の大きな原稿の場合には、図表をいくつかのメールに分割するなどして、1 通で 3 Mbyte を超えないように工夫してください。どうしても数 Mbyte におよぶファイルを送らざるをえない場合には、事前に天文月報編集係までご相談ください。
- ・電子メール投稿の宛先は `toukou (at-sign) geppou.asj.or.jp` です。

7.2.3 そのほかの方法による投稿

上記による投稿が難しい場合は、天文月報係 (`geppou (at-sign) asj.or.jp`) にご相談ください。

8. 別刷りの注文

記事の別刷りを希望する場合は、著者校正の際にその旨をお知らせください。別途、申込書をお送りいたします。別刷は数部単位での注文が可能です。詳しくは申込用紙を御覧ください。別刷りは掲載号が発売された後、一カ月以内に著者に届けられます。

9. 校正

9.1 印刷所への入稿後の手順

原稿が印刷所に入稿されてから出版までは以下の手順で行われています。

1. 原稿をもとに印刷所で組版を行い、「初校」を PDF データとして作成します。
2. 初校の校正を著者をお願いします（著者校正）。「9.2 著者校正」を参照の上、校正結果をお知らせください。
3. 著者校正後、校正委託先に初校を渡し、プロによる校正を行います。
4. 印刷所で初校の校正内容を反映させ、「再校」の PDF データを出します。
5. 原稿担当者・校閲担当者とは別の編集委員によって再校の点検を行います（最終点検）。校正結果が正しく反映されているか、内容に問題がないかを確認します。この時点では、明らかな間違いや読者や著者への著しい不利益がない限り修正はいたしません。
6. 最終点検が終わった再校を印刷所に戻します。
7. 数日後に最終的なデータが印刷所から送られます。問題がなければ校了すると同時に、天文月報オンラインにアップロードします。

手順のうち、著者と校正業者、編集委員の三者による校正や点検について詳しく説明します。

9.2 著者校正

初校の PDF ファイルを著者の方にお送りし、校正をお願いしています。入稿後、著者による校正は初校の1回限りです。著者校正では、以下のポイントに沿って校正をお願いいたします。

- ・校正では、原則として内容に関わる修正はできません。原稿のとおりになっているかの確認と、原稿の時点で気付かなかった誤字脱字、表記ゆれ、専門用語の説明の脱落などのみの修正となります。
- ・文字・行数調整（最終ページの余白は半分以下となるように行数を調整）
- ・不適当な表現の是正（難解な専門用語には適切な解説を付けているか）
- ・誤字脱字・句読点の修正
- ・図の確認：解像度は十分か、文字はすべて読み取れるか、色分けや濃淡が適切に表現されているか、タイトルや説明が平易な表現になっているか、本文に適切に参照されているか
- ・参考文献の確認：番号は正しく振られているか、すべて本文やキャプション内に参照箇所が明示されているか
- ・Tex で原稿を作成される場合、印刷所でテキスト形式に変換されていますが、下付・上付き添字や単位、ギリシャ文字など、Tex 由来の間違いが多発しますので、ちゃんと表示されているか必ず確認して下さい。

修正箇所は、返信メールの本文に直接指示をテキストで書き込むか、または PDF の注釈機能で修正点を書き込みメールでお送りください。この段階で行数調整以外に内容の大幅な修正は行わないでください。なお、校正用のデータは誌面割付目安のためデータサイズを軽くしてあり、実際に印刷される図より解像度が低く

なっています。図の解像度に不安がある場合は、その旨をお知らせください。

9.3 校正業者による校正

著者校正の後は、校正委託先により校正が行われます。ここでは誤字・脱字のチェックのほか、天文月報の書式に沿った修正や表記の統一、校正者で判断できる範囲の（一般的な用語の）ファクトチェックなどを行います。修正があっても、意味に関わるようなものでない限り著者には連絡しません。

9.4 編集委員による最終点検

再校が出たら、編集委員が最終的な確認を行います。初校で著者と専門の校正者に指示された修正がすべて反映されているかの確認と、最後にもう一度内容及び誤字脱字の点検を行います。ここでは基本的に新たな修正はしませんが、大きな問題や疑問があった場合には著者に確認することがあります。

10. 天文月報オンラインの公開

紙版の発行日である毎月 20 日に先駆けて、天文月報オンラインを公開しています。

EUREKA と SKYLIGHT のすべてと学会からのお知らせ記事はすべてははじめから公開されますが、天球儀、シリーズ、特集などはその都度編集委員で公開するかどうかを決め、それ以外の記事は、1 年間アクセス制限をかけます。公開から 1 年後にすべての記事を公開します。

なお、天文月報オンラインは紙版と同一のデータであるため、発行後、オンライン版だけを修正・変更するということはできません。ただし、図をカラーで表示したい場合、オンライン版のみカラーにすることができます。

11. 著作権

原則として、天文月報に掲載された著作物の著作権は日本天文学会に帰属致します。個人的に発表や出版される場合には、日本天文学会の許可が必要となります。天文月報編集部に転載許可願いの用紙がありますので、記入の上、天文月報編集部に提出ください。天文月報に掲載された著作物（文、図、その他）をその著者が個人的なウェブページ上に公開する場合には次のようにしてください。

その著作物が天文月報（発行年、号、ページ記載）に掲載されたものであり、著作権が日本天文学会にあることを明記してください。

あらかじめ天文月報編集部にウェブページ上で公開する旨を連絡し、URL をお知らせください。該当ページには天文月報のウェブページからリンクを張る場合もあります。あらかじめ御了承ください。

12. 原稿料・別刷り代・掲載料

12.1 原稿料

Skylight, Eureka, 天球儀, シリーズ原稿を執筆いただいた方には、原稿料として二万円以下の薄謝を進呈しております。原稿料についての詳細は[こちら](#)をごらんください。

なお、原則として電子通貨による送金や海外の金融機関への送金はいたしません。必ず日本の金融機関の振込口座をご用意ください。

12.2 別刷り代

原稿が 6 ページの場合、別刷り一冊あたりの費用は発行月の天文月報の表紙つきで 350 円、白紙の表紙つきで 250 円程度です。ただし、注文部数、原稿枚数、図の数などによって若干変動します。

12.3 掲載料・手数料

月報編集部にて原稿製作において特別な作業が必要となる原稿にあたっては手数料、掲載料をいただいております。これに該当する作業は、以下のものがあります。

- ・ 表紙以外にカラーグラビアなど、カラーページを掲載する場合。カラー8 ページで約 8 万円の実費がかかります。このうち、著者負担額については、相談に応じます。
- ・ 印刷所にて図のトレースを行った場合。1 枚につき 2000 円程度がかかります。
- ・ 原稿の文章部分の入力を編集部で行った場合。一文字につき 0.7 円です。
- ・ 初稿作成後に原稿の大幅な原稿の修正をされた場合。1 ページにつき 2000 円です。